

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

建築法人社団一環会ケレシテス会々団

配 慮 項 目	評価点	重み係数	内 訳			
■ 1. 「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.13	Q1	室内環境	2	温熱環境
開口部に複層ガラスを採用 ブラインド等の設置	3.0	0.15			2.1	室温制御
	3.0	0.72	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	3.0	0.22				
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	2.4	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	2.7	0.11				
1.3 設備システムの高効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.4	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
燃焼系瞬間式給湯器を採用						
小計	2.4	0.19				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	3.0	0.05				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.02	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.20	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	1.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.20	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	2.4	0.30				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	2.7	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	2.7	0.13				
1. 「地球温暖化対策」の推進の評価						
	2.6	0.70				
■ 2. 「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	2.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
広島市緑化推進制度の定める緑化率を確保	4.0	0.25	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	2.0	0.26	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.2	温熱環境悪化の改善
小計	2.5	0.96				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
適切な駐車場・駐輪スペースの確保					2.3	地域インフラへの負荷抑制
小計	4.0	0.04				
2. 「ヒートアイランド対策」の推進の評価						
	2.6	0.18				
■ 3. 「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	4.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
磁器質タイル張とすることでコンクリートの中性化を抑制している					2.1	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
					2.2	部品・部材の耐用年数
小計	3.5	0.54				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
サヤ管ヘッダー方式の採用					3.3	設備の更新性
					3.3	設備の更新性
					3.3	設備の更新性
					3.3	設備の更新性
					3.3	設備の更新性
					3.3	設備の更新性
小計	3.0	0.46				
3. 「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)						
	3.3	0.13				
■ 重点項目の総平均(上記3項目)						
	2.7					